

別紙2

平成23年度第1回 長洲・荒尾地域公共交通活性化協議会 発言内容

事務局長	<p>定刻となりましたので只今から「平成23年度第1回長洲・荒尾地域公共交通活性化協議会」を開催します。</p> <p>まず、本日の資料の確認をお願いしたいと思います。</p> <p>事前に送付いたしました資料から確認したいと思います。本日の式次第が1枚、議案が1部、資料1、2、4、5、6が1枚ずつでございます。続きまして、本日配布いたしました資料についてですが、配席図が1枚、委員名簿新旧交替表が1枚、資料3が1部です。不足等ございませんでしょうか。</p> <p>また、昨年度作成しました「長洲・荒尾地域公共交通総合連携計画策定調査業務」の報告書を配付しておりますので、こちらは帰られてからご覧いただきたいと思います。</p> <p>本日は、吉田委員、貢委員、田代委員3名の委員が所用のため欠席でございます。</p> <p>それから、委員名簿新旧交替表を見ていただいてよろしいでしょうか。</p> <p>今回、人事異動等に伴い、産交バス株式会社の久保山委員が梅本委員へ、玉名地域振興局維持管理課長の太田委員が松村委員へ、荒尾市建設経済部土木課長の江上委員が田代委員へ、地域代表（腹赤校区）清源寺区長の濱村委員が平原区長の濱村委員へと、4名の委員の方が変更となっておりますので、ご報告いたします。</p> <p>それでは、次第2、会長挨拶を大山会長よりお願いします。</p>
会長	<p>皆さんこんにちは、委員の皆様にはおかれまして、大変お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>本日は22年度の本協議会の決算と、生活交通ネットワークの提出についての2点、それから報告が2点ございます。議案につきまして、皆様方に御審議いただくこととなりますが、最後までご協力のほど宜しくお願い申し上げます。</p> <p>報告になりますが、前回の協議会から3ヶ月ほど経っております。運行業務委託とシステム関係の事業者が決定しておりますので、そのあたりが報告の中に入ってくるかと思っております。どうぞ今日一日宜しくお願い申し上げます。</p> <p>それでは早速協議に入りたいと思います。</p> <p>議案第1号、平成22年度長洲・荒尾地域公共交通活性化協議会の決算について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	【議案第1号、説明】
会長	<p>只今、議案第1号「平成22年度長洲・荒尾地域公共交通活性化協議会の決算について」の説明が終了しましたが、ここで監査報告を監査委員であります中島委員よりお願いしたいと思います。</p>

中島委員	監査報告を致します。会長より提出されました「平成22年度長洲・荒尾地域公共交通活性化協議会収支決算報告書につきまして、平成23年5月31日、荒尾市役所におきまして田代委員と監査を実施いたしました。関係書類及び帳簿等精査した結果、適正に会計処理が実施されておりましたのでここで報告いたします。
会長	ありがとうございました。それでは、議案第1号につきまして何か質問ございますでしょうか？
山下委員	歳入の部で国庫補助金が400万円入ってきているようですが、歳出の部で事業費の支出は399万円になっています。この差額の1万円は何に使用されたのでしょうか？
事務局	差額の1万円につきましては、報酬、ならびに費用弁償に充てております。その結果を国にも実績報告として提出し承認を得ております。
	【その他、質問なし、議案について異議なしとして承認】
会長	それでは、続きまして議案第2号「生活交通ネットワーク計画の提出について」事務局より説明をお願いします。
	【事務局より議案第2号、説明】
重光委員	今回名称を変えてということですが、事務局より報告があった13項の「協議会メンバーの構成」について、名称が変わっても今の委員がそのまま残るという認識でよろしいですか。
事務局	協議会の委員の変更については、現在のところ考えておりません。現状の委員で協議を図ったということで提出していきたいと考えております。
会長	本議案についてはご理解頂けたかと思いますが、今までは「地域公共交通統合連携計画」ということでやってまいりましたけれども、国の事業の変更に伴い、今回の名称で国庫補助を申請するという事です。 その場合の要件として、幹線への接続する内容が必要な為、今回この内容で提出して国庫補助を受けようと考えているのがいかがでしょうかというのが議案第2号でございます。
奥委員	12項の「利用者等の意見の反映」について、私の理解だと、かなり丁寧に何度も何度も住民座談会を行って、意見集約に努められたように認識しているので、せっかくですからそのことをもっとアピールされてはどうでしょうか。現在書かれているこの記載だと、通り一遍のヒアリングを行ったという印象を受けかねないので、住民座談会の回数だとか具体的に内容を記載したほうがよいのではないのでしょうか。
事務局	貴重な意見ありがとうございます。座談会につきましては何回行ったと追記して提出したいと思えます。
山本委員	事務局から説明がありました「地域公共交通活性化再生統合事業」は昨年度の事業仕分けにおいて、3年間の補助だけで終わってしまうので、先が見えないじゃないかということで廃止となりました。その結果、新たに23年度予算として、これまでのバスの補助や陸路、航路の応用という交通全般の補助を全部集めて「地域公共交通確保維持改善事業」が創設され、特に公共交通で維持が難しいところへ補助を行う制度になっています。

	<p>その中には、幹線ということで複数の市町村を結んでいるバスへの補助というのがあり、または地域内の幹線に結ぶというのが補助の要件となっています。長洲町の場合は、幹線に結ぶということが出来ましたが、他のところでは逆にそういう幹線もなければ、バス停が近接しているなど補助の対象外もあります。また、要件には住民（利用者）の意見の反映という項目もあり、住民に協議会に入ってもらうか、アンケート調査を実施するか、またはパブリックコメントを行えば要件に該当することになっています。</p> <p>また、補助に関しては、以前は3年間ということでしたが、今後は赤字があればそのまま続けていく予定になっています。ただし、生活交通ネットワーク計画は毎年度3年分の計画を提出する必要があり、事前に補助金の額を確定するので、従来の決算に対する補助ではない新しい制度となっています。計画は本協議会や自治体が提出して、補助金の申請は事業者が申請して事業者を支払われるような仕組みになっています。</p>
会長	ありがとうございます。今回の計画について内容を補足していただきまして皆様ご理解いただけたことかと思えます。
	【その他、質問なし、議案について異議なしとして承認】
会長	それでは、続きまして報告第1号及び報告第2号につきましては関連しておりますので、一括して事務局より説明をお願いします。
事務局	【報告第1号及び第2号 説明】
濱村委員	資料4の説明の中のシステム導入費の1228万5千円の財源内訳と、今後のスケジュールの中の8月末までの機器の導入、その後の試験運用、オペレータの研修については導入費用に含まれるのでしょうか。
事務局	<p>財源の内訳につきましては、全て一般財源を考えております。バスの補助金といたしまして2路線に対しまして1500万円の予算を要しておりましたが、その予算をそのまま利用して、長洲町予約型乗り合いタクシーの運行が出来ないかと考えております。</p> <p>現在の試算では、タクシー会社への委託費、システム費、オペレータの人件費などを含めまして、合計で1570万～1600万程度を予定しております。それに利用者収入が入ってまいりますと、現在の予定では180万程度の利用者収入を見込んでおりますので、おおよそ1400万程度には収まるのではないかと考えております。さらに、国庫補助金が入ってくると運行費用はもっと下がってくるのではないかと考えております。</p> <p>また、今後のスケジュールの中の8月末の機器導入、9月に研修、運行試験の実施ということですが、全ての費用がこの金額に含まれているということで認識頂いてよろしいかと思えます。</p>
嘉村委員	運送法上の位置付けは路線定期運行と、路線不定期運行、区域運行の3つがありますが、今回は区域運行ということで、利用者がもっとも使いやすい、或いは要望の多い形態になり、九州の中でも注目されることになるのではないかと考えています。先行的には八女市の方でも行

	<p>っていますが、長洲町の方が、区域的にもコンパクトな形で導入されるということで、九州、ないしは日本の中でも注目されて、問い合わせや視察があるだろうと考えています。その中で普及啓発活動なども計画をされていて、非常に頼もしいと感じていますが、ここで地域公共交通のマネージメントという観点から3つほど要点があるのでお伝えしたいと思います。</p> <p>一つは、地域公共交通の利用・促進に向けて担当部局の方が営業マンとしてPRを行うということが、成功事例の中から言われています。これは計画されているようなので大変よい事であると考えております。</p> <p>二つ目は、計画と現実の乖離^{かいり}であり、これについては常に観察を続けてほしいと思います。理想に近づくように利用の実態、運行の実態、関係機関との連携、推移、そういうものを見つめてほしいと考えております。</p> <p>三つ目は、計画の状態に少しでも近づけるように、工夫をお願いしたいと思います。運行計画の見直し以外に理想的な状態に近づけるように、誘導策や改善策を行い続けて頂きたいと重く思います。</p> <p>この3点を踏まえて是非デマンド型乗り合いタクシーの成功事例になってもらうように期待しております</p>
会長	<p>ありがとうございました。最初はお褒めの言葉を頂いているのかと思いましたが、担当はさらに緊張してやっていかなければならないと感じながら聞いておりました。</p> <p>担当はまちづくり課ですが、町長との座談会を開催する際は、乗り合いタクシーの説明の要望を多く頂いております。住民も非常に期待をされており、地域公共交通を利用して頂いて楽しい生活を送って頂けるよう期待をしております。</p>
宮島委員	<p>資料6の目的の中で、資料には10月3日から現状の路線バスを廃止し、長洲町予約乗合タクシーの運行を実施するという表記がありますが、たしかに今回2つの路線は廃止になりますが、健康福祉センター環状線については土、日と運行しています。10月1日は土曜日、2日は日曜日となるがこれについてはどのようなようになるのでしょうか。</p>
事務局	<p>10月1日、2日の健康福祉センター環状線の運行は行いません。</p>
浦田委員	<p>多くの委員の方からご丁寧なご質問、ご意見を頂きまして大変ありがとうございます。</p> <p>ただいま報告を聞かせて頂きまして、長洲町予約型乗合タクシーの運行業務が長洲タクシーさんに決まり、私たち地域住民代表と致しましても運行業者も決定し、新たな公共交通の運用がよいよ始まるのだなと心待ちにしている次第であります。</p> <p>また、長洲町タクシーさんにおかれましては、経営状況厳しい中でジャンボタクシーの購入などの投資も必要になるかと思いますが、運行に対するご協力とご理解に感謝申し上げたいと思います。</p> <p>この予約型乗合タクシーにつきましては、これまでバスやタクシーを利用できずに買い物や行事に外出できなかった高齢者の方たちがたくさんいらっしゃるわけですが、今後はそのような方たちが安心して地域で生活していける、或いは楽しい地域生活が送れるのではないかと思います。</p>

	<p>います。</p> <p>そういう意味でも、どんどん利用して頂くためには、私たち地域代表が基本的なことの普及・啓発を行っていく必要がありますが、先ほどもありましたがそのような啓発に関しましては、民生委員協議会の宮崎会長様にもご協力いただきまして、民生委員さんと共同で啓発を続けていってよりよいシステムを作っていきたいと思っておりますので、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。</p>
会長	<p>副会長の浦田委員は長洲町の駐在員会の会長という立場で協議会に出席いただいております。</p> <p>また、民生委員児童委員会長の宮崎様も本協議会委員でございますけれども、啓発に関しまして何かございましたらお願いいたします。</p>
宮崎委員	<p>民生委員の宮崎です。6月24日に開かれました役員会で予約型乗合タクシーの説明に来ていただいて、1時間ほど説明して頂きました。次回7月12日にも定例会を開きますのでその時にもお願いすることになるかと思っております。</p> <p>やはりなかなかこういう風に説明をしますよと言っても、何のことだろう？というような理解が進まない方がいらっしゃいます。申込書の配布を行った際にも、なかなか内容を見られない方もいらっしゃいます。独居老人や高齢者の二人暮らしなどは定期的に訪問しておりますので、そのような方にも出来る限り啓発に努めてまいります。</p> <p>本当に必要な方はそういった方々だと思いますので、多くの方に知って頂き、登録を早めに済ませて利用して頂ければより活性化できるのではないかと考えております。</p> <p>これは民生委員、児童委員の仕事だと最初から思っておりましたので、精一杯協力してまいりたいと考えております。宜しくお願いいたします。</p>
会長	<p>ありがとうございます。まちづくり課で説明会を行う場合は、この場所で説明会を行いますということがありますが、それだけではない啓発活動を民生委員の方々にご協力を願うことでより多くの住民の方への周知が可能になるのではないかと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>他、質問がないようでしたら次第4のその他について事務局の方から何かございませんでしょうか？</p>
事務局	<p>特にありません。</p>
会長	<p>委員の皆様から何かございませんでしょうか？</p>
塘岡委員	<p>九州新幹線が開業して100日が経過しましたが、新玉名駅、新大牟田駅の利用状況が予定していた数よりも少ないという風に聞いています。在来線の長洲駅も3月のダイヤ改正で特急が朝と夕方運行されるということで大変喜んでいましたが、利用状況はいかがなものかという印象を受けております。</p> <p>やはり電車やフェリー、新幹線も含めて相互連携してその利便性を高めていかなければなら</p>

	<p>ないと思います。でなければ、なかなか利用者は伸びていかないと考えており、人が動けば町が活性化するはずです。</p> <p>そういう意味からも、有明フェリーとJR長洲駅を結ぶ交通手段の利便性をもう少し考えていく必要があると考えています。</p> <p>私自身も有明海フェリー航路活性化協議会の地域代表の委員もやっており、雲仙・島原とJR在来線をつなげるため、是非この本協議会でも検討いただけないだろうかと思っています。</p> <p>金魚と鯉の郷広場でも軽トラ市を行っています、そこへ行くと県外から金魚と鯉の郷への来場があるようです。その後、JRで他のところへも行かれているという話も聞いています。そういう事も含めてフェリーとJR長洲駅とのつながりを検討いただきたいと思います。</p>
西田委員	<p>高速道路が平成21年に一律1,000円になり有明海航路の長洲－多比良航路、熊本－島原航路が大きく影響を受けてきました。もちろんJRもバス会社も同様ですが、この影響により有明海の航路の存続が危ぶまれる事態になり、要望を国に申し上げてきましたが、現状手が回らないと言われていました。</p> <p>そうであるなら、航路に対する補助が申請出来ないだろうかということで各関係機関に協力いただいて有明海フェリー航路活性化協議会を発足させました。その中で航路を使って頂ける普及啓発活動や、受け入れ施設の改善事業に対して補助を頂きながら活動しております。</p> <p>私どもフェリーとしましても、色々な方たちの協力を頂いておりますので、当然ながらフェリーとJR、地域公共交通と施設の利便性を図っていかねばならないと考えています。出来ることならば長洲港からJRとの連携、長洲駅に関しましては新幹線開業に伴い、在来線の特急を長洲町でもJRに陳情し大変苦労したという話を聞いています。そのような中、是非我々もJRのお客が増えるように頑張っていかなければいけないと考えております。</p> <p>具体的には、現在九州産交バスの路線バスを運行して頂いておりますが、最近では年配の方が多くなっており、バス停まで行く事や、シーズンオフの期間がなかなか自由にならないとの声を聞いています。</p> <p>我々のアンケートの中にもタクシー利用という声がありますが、フェリーが430円でタクシーが1区間でも700円ほどかかってしまい、利用者からはそのあたりの比較をされ、便利だという人もいますが、若干の費用高だという声を多く聞いております。</p> <p>そのような中で本協議会を通じて関係者の方や、九州産交バスと相談しながら、また本協議会の中でもご紹介しながら前向きに進めていければと考えております。是非実現できるように協力をお願いしたいと思います。</p>
山並オブザーバー	<p>有明航路活性化協議会は、3つの事業者を踏まえて有明海フェリー航路として維持・活性化を図っていくということで発足しているため、有明フェリーの西田部長も言われていたように事業をしていくことで利用者の利便性・安全性が確保しつつ、本年度は3つのフェリー会社で使えるポイントカードとして皆さんにより利用して頂けるのではないかと現在計画を行っています。</p> <p>塘岡委員が言われていたフェリーを渡った後の交通機関というのは、現在計画を思案中であ</p>

	<p>ります。昨年度は熊本－島原間では旅行商品として検討を行っており、島原市が導入を進めています。</p> <p>今後は各自治体、今回でいうと長洲町になりますが、陸の活性化協議会と連携を図りながら、県としても検討をしていきたいと思ひます。</p>
奥委員	<p>今現在計画されている内容は、長洲町に住んでいる町民が事前に登録して、登録している人が予約するというシステムだと認識していますが、長洲町に住所がある法人の登録というのは想定しているのでしょうか。</p> <p>仮に法人登録が出来た場合、その関係者が乗合タクシーを利用することが出来れば利用が広がると考えております。</p> <p>例えば有明フェリーが法人として登録して長崎から来訪者がある場合に、長洲港から各地へ乗合タクシーを利用することでこのシステムを活用できないかと考えますがどうでしょうか。</p>
事務局	<p>法人登録についてですが、今回の乗合タクシーについては、町内・町外に関係なくどなたでも登録が可能です。</p> <p>半年間の実証運行の中でどれだけ利用者があるかということと、2台で利用者に十分な運用が可能かは現状では結論が出ませんので、法人登録が可能かどうかは今後の検討課題としていきたいと思ひます。</p>
奥委員	<p>国や県からの関係者の方もいらっしゃるのですが申し上げますが、鉄道やバス路線の長期的な展望について私自身が勉強不足のため分からないので、国や県としては、例えば生活交通ネットワーク計画というのは中距離の国庫補助バスをつなげるという事ですが、鉄道との関係をどうするか、新幹線や高速道路との関係性はどうかなど教えていただくことは可能でしょうか。またはWebサイトなどに示しているのであれば適宜教えて頂きたいと思ひます。</p>
山本委員	<p>長洲町の場合は、幹線につなぐフィーダーということで申請しますが、地域公共交通確保維持改善事業はバスに限らず、鉄道や船にも適用されます。複数の町を結ぶ場合は地域間幹線の補助となります。鉄道に関しては今回のような補助はありませんが、整備部分での補助を行っております。</p> <p>地域公共交通確保維持改善事業というのは、今回のようにバス関係の公共交通の確保と維持を第一にし、それに対する普及促進のバリアの解消、そして計画を策定する調査事業の3本になっております。</p>
嘉村委員	<p>インターネット等でご覧になる場合は、国土交通省のホームページから公共交通で高速道路等をキーワードに探っていただくと、新幹線の建設の関係や鉄道や船舶などの総合的な交通政策の関係でホームページに記載があるので参照いただければと思ひます。</p>
山下委員	<p>塘岡委員より有明フェリーからJRの長洲駅などの交通のネットワークをもっと考えるべきではないかという話がありましたが、実際にどのようなになっているのか、この協議会で可能かどうかは分かりませんが、この委員のメンバーで実際にフェリーに乗って、現地へ降りて会場に集まって、その問題点等を指摘するのはどうでしょうか。</p>

	<p>本日はJ R、フェリー、バスの関係も含め関係者が全て出席していますので、どうやったら人の流れが作れるのか、特に長崎・熊本は人の流れの柱になりうるのではないかと期待しております。</p>
大崎委員	<p>皆様の話を聞いていると、全て乗合タクシーや交通機関の改善という話に終始していますが、私の立場から申し上げますとタクシー会社が長洲町には3社あり、各社営業をしておりますので通常のタクシーも利用していただきたいと思います。</p> <p>また、これからの事業ということで旅行者に対するフェリーと乗合タクシーの相互連携などについてはまだそこまでは今考える必要はないのではないかと考えます。</p>
会長	<p>貴重な意見として参考にさせていただきます。委員の皆さんから何かございませんでしょうか？ 無いようでしたら、これで平成23年度第1回の協議会を終了したいと思います。</p> <p>皆さんお疲れ様でした。</p>